

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

# 同友

2016 February

02

Vol.595

Monthly Communication Magazine DOYU

**03** 【特集】 第25回 福岡県中小企業経営者フォーラム 開催報告  
「こだわり」～我が社の強みを社員とともにさらに磨いていこう～

**08** 21世紀型 自立型企业づくり  
穏やかな職場はいい仕事をする  
～自分の従業員からの「信頼残高」はどのくらいあるのか～  
有限会社 若菜クリーニング

**11** 2015年度 広報勉強会

**12** 2月行事案内

**14** 自社商品・サービス紹介

**15** ようこそ同友会へ／第8回 理事会報告



## よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

## よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収しこれからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

## よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

### はみだし Report

#### 21世紀型 自立型企业づくり

(本誌p.08掲載)



有限会社 若菜クリーニング  
代表取締役社長  
**若菜 真一** 氏 (福友支部)

「穏やかさ」—この言葉は、今年の福友支部におけるキーワード大賞だと個人的に思っています。

福友支部8月例会の報告者として報告された若菜真一社長。その報告で何度も出てきた言葉が「穏やかさ」でした。経営者として日々仕事をしているなかで、従業員に対し「なんでこんなことができないのか」と熱くなり時に感情的になって悩んだ経験がない社長はいないでしょう。この悩みを若菜社長は時に「今自分は感情的になっていないか」「今自分は穏やかだろうか」と自問自答しながら従業員とのコミュニケーションや育成に励んでいるとのことでした。

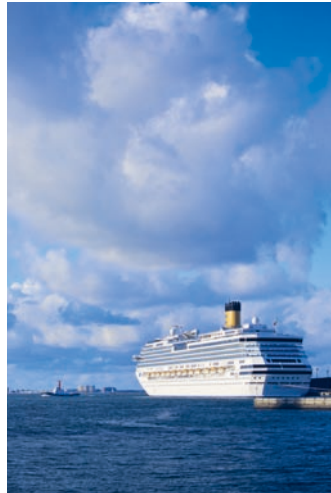
若菜社長は、新卒で大手デザイン会社に入社された後、30歳になる前に実家に戻ってこれ、それまで何も知らなかったクリーニング業界において、「ウチにしかできないものはないか」と持ち前の「好奇心と負けず嫌い」で考え、全国のクリーニング店を自分の足で見て回ったそうです。そこで行き着いたのが、「染み抜き」。この染み抜きにおいては「どこにも負けないクリーニング店づくりをする!」と決断され、今では遠くからのシミ抜き依頼が後を絶たないそうです。

プライベートでも好奇心旺盛の多趣味で、もともとテニスをやっていたそうですが最近ではキックボクシング、マラソン、トライアスロンと体を鍛えまくっています。また心理学にもハマっているそうで、従業員マネジメントにも使えるといつも元気に話してくれます。

記事: (株)ライズ 高尾 英正 氏 (福友支部)

### 今月の表紙

撮影・文: 間々田 正行  
(メニテイス/福博支部)



「爆買い」。昨年、ユーキャン新語・流行語大賞にも選ばれたほど、主に大型クルーズ船でやって来る中国人観光客の購買力の高さは広く知られています。

その一舞台が福岡。免税店があるキャナルシティ博多周辺をはじめ、貸切バスが起こす渋滞で、「爆買いパワー」を実感されている方も多いと思います。福岡市の海の玄関口・博多港では、大型クルーズ船が停泊している姿をよく目にすることができます。

福岡市は「アジアに開かれた街」を以前からアピールしてきましたが、そのことを目の当たりにできる光景といえます。



博多ポートタワーからは博多港が一望のもと。



博多港でよく見かけるこのクルーズ船、実はイタリア船籍です。



博多埠頭には柳田神社浜宮が鎮座。博多祇園山笠の棒洗いの神事がここで行われるそう。



市営駐車場の1階に、いつの間にか免税店が誕生していてびっくり。

### 「私たちの宝」 博多港

「こだわり」 ～我が社の強みを社員とともにさらに磨いていこう～

10月14日(水)、ヒルトン福岡シーホークにて「第25回福岡県中小企業経営者フォーラム」を開催致しました(参加者753名)。

中小企業の強みの源泉は経営者としての「こだわり」であるとし、さらなる競争に打ち勝つ経営者の「こだわり」に焦点を当て、強みをいかに磨くかを学んでいくこととしました。

基調講演は、博多ラーメンでよく知られている(株)一蘭 代表取締役の吉富学氏より『一寸法師戦略～弱者が強者に勝つ!商売の秘訣～』のテーマで講演いただきました。吉富氏は、「今、15年前よりもものすごいスピードで時代が変化している」と話し、『良い人』、『良い商品』、『良いサービス』、『良い会社』しか生き残れない。デジタル化によって中間業者(卸売業や仲介業など)は減っていくが、中間業者でも『良い会社』であれば生き残っていける」と話しました。

今年度は11の分科会を開催し、各分科会とも非常に多くの学びがありました。各分科会の報告概要を紹介します。



吉富 学氏

フォーラム実行委員会

第1分科会 社員満足にこだわる!

日本一働きたい美容室にこだわる!  
～業界常識の労働条件を否定し新たな時代にチャレンジする～

報告者  
ふるさと まなぶ  
古里 学氏  
フラッシュ株式会社 代表取締役  
(長崎同友会 出島地区会)



<企業プロフィール> 創業:2005年5月/資本金:1,000万円/従業員数:41名(内パート・アルバイト5名)/事業内容:長崎県内を中心に15店舗の美容室を運営

で15店舗を運営されています。

古里氏は、創業期に多額の債務超過に陥って苦しい時期を経験され、自ら儉約に努めました。そんな中でも社員さんに将来のビジョンを語り、厳しい時期を乗り越えてこられました。

お店の特徴は、営業時間が朝8時開店16時閉店という朝型のお店というところであり、特殊な施術を省いたメニューを絞った専門店型のお店です。柔軟な勤務シフトを整え、長時間労働になりがちな美容室とは異なり、社員さんは閉店後の夕方は家族と過ごすことができます。

また、社員さんが働きやすい店舗づくりを実践されています。作業時に足腰に負担のかからないような設備を導入し、煩雑な作業を効率化して生産性を高め、社員さんの給与アップに繋がる取り組みをされています。また、美容業界は人の定着が難しいと言われています。古里氏はトレーニングセンターを新設し、そこで社員さんの教育に投資し、グループ内で独立して店舗を構築えられる制度を作られています。

自社の業界の良い点、改善点を深く分析し、改善を重ねていけば大きな強みになること。そして、古里氏の人を大切に経営を通して、社員さんが働きやすい職場、働きがいのある職場をどう実現していくか具体的な気づき

第2分科会 海外進出にこだわる!

我が社の人財育成力で海外の人材育成にこだわる!  
～「どうして500万の福岡県民は全員英語をしゃべれるようになったのだろう?」と言われるような学校を創る!～

報告者  
ほんだ しょうじ  
本多 正治氏  
株式会社G-net 代表取締役 (広島同友会)



<企業プロフィール> 創業:2005年12月/資本金:1,000万円/従業員数:147名(内パート・アルバイト130名)/事業内容:学習塾「明光義塾」を9校広島で展開、そのノウハウを生かしてフィリピンに合宿型の英会話学校を設立

のある分科会でした。

〔株式会社リソグフアーム 檀原 憲一(りようちく支部)〕

本多さんは、大手住宅機器メーカーを退職後、学習塾の「明光義塾」FCに加盟して起業を果たし、今では9校を展開するまで成長されました。

将来の日本の人口減少による市場の縮小を見据えていた時に、世界一周旅行でのバンクーバーで出会った語学留学生

### 第3分科会 「曲げ」にこだわる!

#### 「曲げ」に特化したニッチ経営 ～さすがやね!と言われるプロを目指して～

報告者

こばやし まさひろ  
**小林 正広 氏**

株式会社上津役製作所 代表取締役  
(ひびき支部支部長)



<企業プロフィール> 創業:1965年6月/資本金:1,000万円/従業員数:14名/事業内容:金属(鉄・ステンレス・アルミ・銅・チタン等)のロール・プレス曲げ加工、及び加工に付随する板取展開業務

の現状に失望し、日本の強みをいかした新規ビジネスチャンスを見つけたのでした。海外進出にこだわり、きれいな英語を話すフィリピンに着目しました。「費用が安く」、「日本から距離が近く」、「授業がマンツーマンで密接」という条件のそろった国でした。

英語も上手く話せず、知り合いもない本多さんは、失敗や違和感、文化の違いを乗り越えてフィリピンのセブ島に合宿型の英会話学校を経営するようになりました。

海外で展開するためには、ジャパニーズブランドの強みを生かし、海外においても、経営理念を念頭に置き、経営に活かしていけば多くの事が実現できると感じた分科会でした。

〔㈱大洋 清原 憲祐(東支部)〕

今年で50周年を迎える九州でも数少ない曲げ加工専門業者の㈱上津役製作所。祖父の始めたたどび職「小林組」を基礎として父が初代社長として創業しました。

創業当初はどこにでもある鉄工所として仕入れや手形取引、鋼板の相場にも一喜一憂する会社でした。

ある時を境に「曲げ加工」に特化し、それ以外の業務を廃止しました。数少ない経営資源を「曲げ加工」一点に絞り技術・知識を集中しニッチ経営を目指し、今日の㈱上津役製作所を築きあげてこられました。

小林さんの報告で感じたことは、これだけどこにも負けないという我が社のこだわりが必要なのだと感じました。そうすることによって競争の少ない、利益の確保のできるニッチな市場を獲得でき、営業コストも落ちることができ、利益率の高い経営ができるようになるのだと学びました。

そのようにするためには社内での作業の見直しをし、わが社はどこを売りにしていくのか?そのために何を捨てなければいけないのかと選択と集中をし、決断して実行していくことが経営者に求められているのではないかと学ばせて頂いた報告でした。

〔㈱ユニバーサルインシユアランス

中谷 文明(北九州支部)〕

### 第4分科会 人のご縁にこだわる

#### 金儲けより人儲け ～経営者の「在り方」を考える～

報告者

いいだ たけや  
**飯田 剛也 氏**

株式会社タウンズポスト 代表取締役社長  
(福友支部)



<企業プロフィール> 創業:2004年9月/資本金:1,050万円/従業員数:11名(内パート・アルバイト3名)/事業内容:郵便物発送代行業、メーリングサービス業

人とのつながりに人一倍こだわりの持つ飯田氏の経営者としての熱い思いが胸を打つ素晴らしい分科会でした。

飯田氏は海上自衛隊の幹部として、パイロットP3Cの機長という異色の経歴を持っています。機長が「仲間の命を預かる」重さと仲間が自身に「命を預ける」という信頼関係が氏自身の根幹を形成しており、経営者となる現在もあえて「金儲けより人儲け」を旨として、経営者として自身を問い、経営者としての「在り方」を実践する日々です。

無論のこと飯田氏は、最初から順風満帆であった訳ではなく、艱難辛苦の末に現在の大量郵便取り扱いで、短期間に年商30億を超える大手企業へと成長させました。その源泉は同友会で学んだ「経営指針書」および「未来ビジョ

ン」にあると言います。

飯田氏はもともと自戒のテーマとして自分指針書を作成しており、自身自ら規律を重んじる経営者であり、行動の全ては「人のために」であり、経営者となった現在でも、お客さまからの「ありがとう」を頂くために何を実践すべきなのかを、常に問い続ける熱血漢です。

飯田氏は我々に向けたメッセージとして、経営者に「やり方」の前に「在り方」であることを問い掛け、企業がなすべき社会性を第一に掲げる会社となることを、今も我々に訴え続けています。

〔日本ビレケア㈱ 山田 秀樹(福友支部)〕

### 第5分科会 パフォーマンスにこだわる

#### 社長!いつまで指示するの?やらせるの? ～社員一人一人に自主性が芽生えたとき、 最高のパフォーマンスが発揮される～

報告者

いいの ほし  
**飯野 保志 氏**

組織問題解決士 プロアスリートメンタルトレーナー  
株式会社Be-Side 代表取締役(会外)



<企業プロフィール> 事業内容:組織問題解決、プロアスリートメンタルトレーニング

プロアスリートのメンタルトレーナーである飯野氏が訴える「企業にとって何故メンタルトレーニングが必要なのか」その答えが今回の報告でわかりました。

まずそれを「板割り」の実践で示してくれました。目標を「板」のところに設定すると割れません。「板の先」に目標を置くようアドバイスすると簡単に割れました。仕事においても同じことで、目標を先に設定するのではなく、その先を見据えることによって、そのためには何をすべきなのかというのが見えてきます。

ある企業から離職率を下げたいとの依頼があり、その会社にグループコーチングで入ることに。そこでのコーチングが効果をあげて団結力が生まれ、離職率ゼロへ。食品メーカーの異物混入でパニックになった時もグループでアクションプランングをして解決。みんなで改善しようという習慣をつけさせることで、会社全体が良い方向へ向かうということでした。

鹿島アントラーズの地域全体でのチームづくり・まちづくりを例に社員教育や会社作りのヒントを得ました。

この報告を通じて社員の自主性、チームでの支えあい大切さが学べ、いかにメンタルの部分が企業でも大切なかが分かり、自社へ持ち帰ることのできるいい分科会でした。

「広告・美術 ホークス

佐伯 雄晴(嘉飯支部)

## 第6分科会 新技術へのこだわり

こだわりの商品開発と技術力  
～産学官連携から生まれた独自ノウハウ「ミルテック工法」～

報告者

小橋 洋治 氏

株式会社ミルテックジャパン 代表取締役  
(中央支部)



<企業プロフィール> 創業：2009年10月 / 資本金：500万円 / 従業員数：3名 / 事業内容：建築物の除・防カビ工事、消臭工事等の企画設計・施工

その年の3月に同友会に入会すると、翌月4月に企業連携推進委員会FASTに参加し、産学連携や開物成務塾、経済産業局等々から、個人では収集できない程の情報を獲得することができました。

また、FASTで伊藤裕一氏(企業連携推進委員長)から「業種を絞った方がよいよ」とのアドバイスを受け、カビ工事業に専念することになりました。2012年8月には元九州大学 湯本長伯教授からの助言を頂き、(株)長門では何をやっている会社か解らないということで(株)ミルテックジャパンに社名を変更することにしました。色々と研究を重ね、ミルテック工法を九州工業大学 横野昭尚教授との連携により開発しました(除カビ・殺カビ・防カビの3工程で施工し、状況に応じて他社には真似できない液剤のブレンド力と塗装技術を持つている)。青森県山内丸山古墳等で防カビ工事を手がけ、マスメディア(テレビ)による取材(3社)等も受けています。UR都市機構、県等のカビ工事も受注しており、さらには共同研究も進めています。

高気密・高断熱化が進み、カビの発生が今後多くなってきました。小橋氏は、カビから来る健康被害の除去・環境改善をこの工法で全国に広めたいと考えています。まず10都市に代理店をつくって、小さな仕事から取り掛かり、カビ工事業を通じて社会貢献して行くのが自身に与えられた使命と考えています。

「(南文商 津賀 政昭(博多支部))

## 第7分科会 利益を生む環境経営にこだわる!

環境経営で会社が変わる 社内が変わる  
～実践すれば経験が積める 経験が自身につながる～

報告者

井上 真一 氏

株式会社大匠建設 代表取締役 (博多支部)



<企業プロフィール> 創業：2007年2月 / 資本金：2,200万円 / 従業員数：36名(内パート・アルバイト10名) / 事業内容：住宅の新築・増改築、店舗内装、家具製作、設計施工を自社工場ですべて行っています。

井上さんが26歳の時、父親が他界し、会社が廃業に追い込まれました。事業承継の難しさ、手形の怖さ、個人事業の信用の無さなどを体現した井上さんは、平成7年大工4人で、(有)大匠建設を立ち上げます。

順調に売り上げを伸ばし社員も13名に増えましたが、下請けが9割の極めて不安定な事業形態でした。そんな折、平成20年アメリカで起きたリーマンショックが、翌年あたりから日本の建築業界にも不況をもたらした。再び経営の危機に直面しました。平成23年同友会に入会し、いろいろな学びの場に積極的に参加し自らを見つめなおす機会となりました。

事業を継続するために、人は減らせない、材料費の値段交渉はできない、

経費の削減しかこの状況を乗り越える方策はないと考え、社内で使われているエネルギーの削減に取り組んだのでした。

いろいろな取り組みの中で、特徴的なのは2012年からの電気自動車車の導入でした。社員に「乗れば乗るほど元が取れるし環境にも良い」と言って、私的利用も推奨したことで、社有車でありながら、自分専用の車という意識から安全運転を心掛け、その結果、事故が減り保険料やガソリン代が下がり、経費削減に繋がるとともに、施主方からの評判も良くなっていました。

社長の行動力と知恵(常に考える)で、本業に「環境経営」という新しいものを取り入れ、社員が変わり、仕事の質が変わっていきました。

東日本大震災の被災地・仙台を訪ねた時、井上さんは強い衝撃を受けました。いずれば枯渇する化石燃料に頼る社会ではなく、未来の子供たちのために地域でできる再生可能な自然エネルギーの必要性に目覚め、地元那珂川町で小水力発電を作ろうという新たな夢の挑戦が始まりました。井上さんの会社の生き残りをおこなった省エネルギーの取り組みは、経営者と社員が同じ問題意識を持ち、課題解決へ大きく前進したこの環境経営が、仕事の質を変え会社発展の礎となったことを学びました。また、私自身が自社の仕事を、新たに「環境」という視点から見つめ直すきっかけとなる分科会でした。

〔旬日研〕 末竹 哲(西支部)

## 第8分科会 地域資源にこだわる!

### 地域資源を掘り起こす振興条例

～モノづくりのための人づくり(ガレージスマダの事例に学ぶ)～

報告者

はまの けいいち  
**浜野 慶一氏**  
株式会社 浜野製作所  
代表取締役  
(東京同友会 代表理事)



報告者

ぐんじ たけひで  
**郡司 剛英氏**  
東京都墨田区産業観光部  
産業経済課  
課長(会外)



<株式会社 浜野製作所 企業プロフィール> 創業:1968年6月/資本金:1,000万円/従業員数:34名(内パート・アルバイト5名) / 事業内容:板金・架台・筐体設計、各種アッセンブリ加工、精密板金加工・レーザー加工、金属プレス金型製作、金属プレス加工、切削加工、機械加工、複合加工、試作製作

墨田区では、1977年から3年かけて「悉皆調査(しらみつぶし調査)」を行い、中小企業の実態を把握しました。その結果、「区民福祉の向上は、即ち、中小企業の振興だ」との確信を持ち、日本最初の「中小企業振興基本条例」を1979年につくりました。以後36年間、「産業振興会議」を軸に、産業界・学識経験者、区職員協働で、条例理念の具体化を計っています。

「条例」、「悉皆調査」、そして、45歳以下、3年交代となった「振興会議」の3点セットで動く墨田区では、“健全なえこひいき”の言葉が生まれ、官民

## 第9分科会 人を生かす経営にこだわる!

### 経営ビジョンに基づく新卒採用「共育」で「誇りと豊かさ」を育む

～イキイキ働き、チャレンジできる、社員定着企業づくり!～

報告者

かわなか ひであき  
**川中 英章氏**  
株式会社 EVENTOS 代表取締役  
(広島同友会 理事・求人・社員教育委員長)



<企業プロフィール> 創業:1986年10月/資本金:4,000万円/従業員数:46名(内パート・アルバイト11名) / 事業内容:食のエンターテイメント業[ケータリング、飲食店、ワインショップ、農村活性化業]

川中さんは、1987年26歳の時にイベント業で創業しました。その後、

一体となったさまざまな経営環境づくりがおこなわれています。

そのひとつが、墨田区の「新ものづくり拠点創出事業」に採択された「ガレージスマダ」です。その事業を展開しておられる東京同友会代表理事の浜野さんも「振興会議」のメンバーであったそうであり、いまこうして他の企業と共に新しい墨田の仕事を創りに励んであります。浜野さんの活動の原点には、2000年に起きた、もらい火による工場全焼の時に、地域の人に助けられた、目頭が熱くなる経験があったそうです。浜野さんは間違いなく、地域のため「良い経営環境をつくる」という意識をお持ちだと感じました。

報告者のお二人には「同じ未来が見えている」「これが座長のまじめにありました。地域のためなら行政とも他の団体とも一緒にやれる。そこから、「良い経営環境づくり」が始まる。改めて、私たち同友会会員は「国民や地域と共に歩む中小企業」として、また、地域のために「自主・民主・連帯」の精神で、行政や他団体と手を組み、「良い経営環境づくり」に励んでいかねばと思っただ分科会でした。

〔旬abc機会社〕

玉井 輝大(玄海支部)

ケータリング事業に力を入れるとともに、広島で初のワイン居酒屋を出店するなど、事業を順調に拡大していきましたが、その一方で、相次ぐ社員の退職に苦しみます。

転職する度に給料が増えるから転職を繰り返す、そんな飲食業界特有の問題を解決したいと考えていたところ、2004年に同友会に誘われ入会。共同求人に参加して新入社員を6名採用するも、教育環境も受け入れ態勢も十分でなく、全員退職してしまいました。

「よい会社を作りたい。」創業当時から強い思いと裏腹に、長年人材面で悩んでいた川中さんでしたが、その後の同友会での新入社員研修などに関わる中で、経営者と社員が共に歩む「共育」の意味と大切さに気がきました。経営指針に出会い、人を活かす経営を繰り返して読んでいくうちに、単に人を活かすだけでなく、生き生きと働ける「人を活かす経営」が目標となりました。

## 第10分科会 イクボスにこだわる!

### ビジネスと子育ての両立へのこだわり

報告者

おぶともかず  
小津 智一氏

株式会社OZ Company 代表取締役  
(糸島支部/ソーシャルビジネス委員長)



<企業プロフィール> 創業:2008年7月/資本金:200万円/従業員数:66名(内パート・アルバイト60名)/事業内容:病院・事業所・サービス施設内託児所の企画・運営を通じた子育て支援サービス

川中さんは、若手社員が育たない原因は若者の問題ではなく、昨今の厳しい経営環境の中、経営者自身が若手に失敗しないようプレッシャーを与えてしまっただけ、と考えるようになり、「思いっきり空振り三振ができる」社風を創りあげます。若手社員が失敗を恐れずチャレンジできる環境を作ったところ、中にはソムリエコンクールで西日本チャンピオンになった社員まで出てきました。

「社員が生き生きと働ける、5分でも早く会社に行きたいと思える。そういう会社になりたい。」川中さんが目指している会社は決して夢物語ではなく、私たちも本気になって目指すべき目標ではないでしょうか。

「とくのうち労務管理事務所  
得能 芳樹(筑紫支部)」

小津さんのこだわりには常に自身自身の人生に真剣に向き合うという信念が貫かれています。自らの体験を通して、子育て支援を事業として独立した小津さんは、「父親であることを『楽しむ』こと」と「傾聴と行動力」にこだわりました。

小津さんは父親として2人の子育てをする中で、社会の様々な問題が見えてくるようになりました。少子高齢化、人口減少による労働者不足、待機児童、児童虐待など。人生に真剣に向き合う小津さんは仕事の枠を超えて様々な活動に積極的に参加し、「ワーク・ライフ・バランス」の重要性を自身自身が輝くことで証明しています。イクボス(父親の子育て参加)の推進活動をするファザーリング・ジャパン九州の設立もその成果の1つです。

小津さんの経営理念は「父親、母親、子供たちの笑顔をひろげていく会社」です。2008年7月に創業されてから今日まで、小津さんにはいくつかの波(問題)が押し寄せてきました。小津さんがその波を乗り越えたのは、彼が人の意見に耳を傾ける「傾聴」とやると決めたらとことん貫き通す「行動力」を持ち備えていたからだと感じました。

報告の中で組織、部下との関わりを大切にされている小津さんは自身自身の思いを経営指針書に文化化することによって組織が活性化しと話していました。自分の思いを語り、共有することで社員の意見、アイデアを抽出する。ボス次第でスタッフが活けると教訓を頂きました。糸島の景色とサーフィンに出会い、

## 第11分科会 競争と景気に左右されない企業づくりのこだわり

### オンリーワン企業を目指して

～医療・メディカル専門物流会社のパイオニアとなる～

報告者

たうらとおる  
田浦 通氏

株式会社シティーライン 代表取締役  
(福岡同友会代表理事 かすや支部)



<企業プロフィール> 創業:1983年10月/資本金:2,500万円/従業員数:120名(内パート・アルバイト75名)/事業内容:入出庫から在庫管理、配送に至る一貫システムでお客様を物流面からサポート。近年は医療・メディカル事業分野の物流を強化し、2015年7月にはそのための新物流センターも完成。

充実した人生を楽しくそして真剣に生きる。そんな経営者と共存する社員さんの顔を想像して見てください。そこには笑顔が浮かんできますよね。34階の絶景そして博多湾を背に報告される小津さんはキラキラと輝いていました。

「三和浄水(株)  
原田 智香(福岡支部)」

を持った社員がいるなど、その事業に適した社屋づくりになっていました。報告の中で最も重要だったのは、企業優位性。オンリーワンが中小企業の生き残る道であること、そしてオンリーワンが自社の中に潜んでいるということでした。

自社の取引先の中から不況の波に影響されない業種を正確に分析し、医療・メディカル業に着目します。関西―九州午前便「九関朝」や担当者配送などそれまで自社で作ったサービスをもとに、医療・メディカル方面に特化することを決めました。お客様へのアプローチも運送会社として近づくのではなく、他業種とコラボレーションして病院経営のコンサルタントとしてお付き合いをすることで、通常の運送会社とは違う1つ上の関係を築くことができています。

社員に対しても経営計画書の作成や朝礼、日常の業務や社員教育活動を通して会社の目指す方向を伝えていきます。この方向性がしっかりと浸透しているからこそ新事業にも果敢にチャレンジできています。内容の濃い報告でしたのでグループ討論も活気にあふれたものでした。それぞれのグループでオンリーワンについて考え、そのヒントとなる自社の振り返りをしっかり話していました。この機会を活かして同友会の仲間として支えあい、切磋琢磨しながらさらに発展していくことを強く胸に誓った一日でした。

「(株)つじ印刷  
辻 義尚(かすや支部)」

# 穏やかな職場はいい仕事をする

## 自分の従業員からの『信頼残高』はどのくらいあるのか

お客様に満足していただくために、まず従業員が大切です。そのためには日ごろの信頼関係の構築が重要だと言います。



### 有限会社 若菜クリーニング

代表取締役社長

若菜 真一 氏

福友支部

創業 1934年3月  
住所 福岡市中央区薬院2-5-1  
電話 092-741-1915  
従業員 24名  
<http://www.wakana-cl.com>  
クリーニング業(シミ抜きに特化)



### 生い立ち

今回の取材先(侑)若菜クリーニングは、昭和9年に創業しました。

「うちの『スゴイ』は、亡くなった祖父とオヤジ、今も手伝ってくれている母や妻、そして歴代の従業員の結晶のようなものです。82年の歴史がなかったら、今の店、そして自分はありません。」

福岡で生まれた若菜さんは団体生活にあこがれて大阪の中高全寮制の学校で過ごしました。東京の大学を卒業後、クリエイティブなデザイナーで有名な乃村工藝社で働きました。

「父親がクリーニング業の社会的地位が低いといつも言っていたことが脳裏にあり、なんとか親を楽にさせたいと思っていました。大

取材 広報部  
文章 菅原 弘(東支部)  
写真 広報部





作業場の様子

学生くらのいこのころから30歳になったら家業のクリーニング店を継ぐと心に決めていました。」

## 入社して 取り組んだこと

その言葉通り、30歳になり実家

に後継者として戻ってきました。帰ってきた若菜さんは自社と業界について知ることからはじめました。

1992年に8000億円だったクリーニング市場は、現在では約4000億円にまで縮小しました。要因は、簡単に洗える繊維の発達、家庭用洗剤や洗濯機の普及、ローコスト・ファストファッションが主流になったことなどの理由によるものでした。

決算書を紐解くうちに危機感を覚えた若菜さんは、SWOT分析やランチェスター経営などを用いて「小が大に勝つための戦略」を考え抜きました。

「クリーニングのことは実家でありながらほとんど何も知りませんでした。今思えば、この業のことを知らなかったことが良かったようです。純粹にいろいろなことを同業者とは違う目線で、そして、元来自分の性格の好奇心と負けず嫌いのおかげでいろんなことを学ぶことができました。」

まず、一番に関心があったのはシミ抜きでした。洋服はもとより、着物など当時の第一人者と言われる人たちのもとで学び、皮などの工場での勉強もしました。仕上げは、アパレル・仕立て屋さんなどで学ぶことができました。

また、業界のことを知るために、北は青森から南は鹿児島まで、100社以上の工場を見学しました。高級店、チェーン店、個人店などのクリーニング業はもちろんのこと、アパレルの縫製会社などの工場にも足を運ぶうち、「うちにはできないことを選択する」という考えを得ることができました。

## 父親の死

経営のことで父親（寛容ひろと）とかなり衝突していました。当時の若菜さんは暴言を吐くこともしばしばありました。理論的に話しても、職人気質の父親には『暖簾に腕押し』でした。

父親は、名前の通り寛容で、寡黙で、自慢せず、弱いものに優しく、地味で目立つことが嫌いな人でした。しかし、そんな父親のことが若菜さんは大好きでした。

父親は経営が大変な中、本店に隣接していた土地を購入し、工場と駐車場を増設させました。そのおかげで遠方からもシミ抜き等で来るお客様も増え、多くの方にご利用いただける基盤を作り上げたのでした。

若菜さんは従業員ともぶつつかっていましたが、それまで大企業で理

論優先の仕事の進め方に慣れていた若菜さんは、24名のスタッフとの軋轢に悩むことになりました。社内の出来事を「白か黒か」という議論にしてしまい、従業員を追い詰めていたのです。

「粹がる私に父が言ったのが『真一、そんなんじゃ人はついてこんぞ。』会社をより良くしたくて独りよがり奮闘していた私をばっさりと戒めてくれたのです。今でも心に残り続けている一言です。」

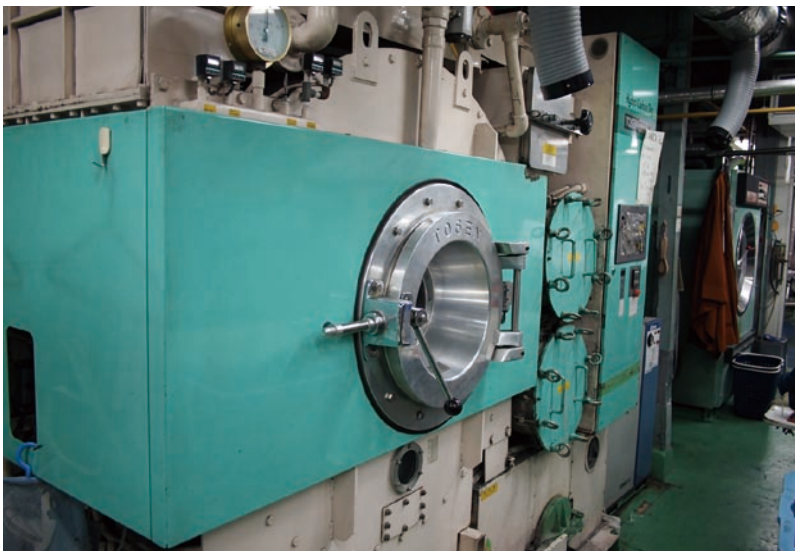
そんな父親が6年前、癌で余命3ヶ月の宣告を受けました。治療のおかげで父親は約2年半もつことができました。病の身体の中、亡くなる一週間前まで足を引きずりながら、工場働いていました。

「現場を動かしていたのは自分でしたが、オヤジが亡くなってあらためて気づいたことがあります。」  
「権力では人は動かない。人は魅力で動く。」

「理屈で人は動かない。人は感情で動く。」

『正しい』は正しくない。『仲良い』が正しい。』  
ということでした。

物事を決める時は、やり方やルールなどの結論よりも話し合いのプロセスを大切にするようにしました。このことは日頃スタッフにも言い続けています。



作業場に設置してあるドライ機

## 同友会との出会い

また、親子でのめめごととはたくさんありましたが、サラリーマンでは味わえない、同じ空間で働くことができたというありがたさを感じたのでした。「本当の幸せって日頃の何気ない所にあるんですよね。」

福岡に戻ってきて、マラソン仲間の高尾英正さん(株)ライズ・福

友支部)に公私にわたり相談を持ちかけていました。父親が亡くなって代表になった年、「経営者としていい会があるよ」と同友会に誘われました。

あすなる塾や経営指針セミナー、福友支部独自の勉強会の「末政塾」や「企業DOC」などでそれぞれの観点から経営指針書作成の勉強をしていきました。

若菜さんが理念に掲げたのは「感動・調和・成長」です。

「感動」とは、「ありがとう」を超える「スゴイ」という言葉をいただくこと。クリーニングと言ったら「ワカナに行ったら!」と言われるようになることをめざしています。

「調和」は自分で「穏やかさ」をつくること。職場からピリピリ・イライラをなくすことです。

「穏やかさ」をつくるには、自ら「成長」することが大切です。「成長」しようとする自覚があるから「穏やかさ」が生まれ、楽しく良い仕事ができます。そして、「感動」を生む仕事ができるのだと考えています。

## 従業員教育よりも自分のあり方

かつて大企業で理論優先の仕事

の進め方に慣れていた若菜さんは、24名の女性スタッフとの軋轢に悩むことになりました。

「そんな時、同友会の勉強会に参加し、様々な人との出会い、良

い刺激を受けました。そのつながりの中で勧められた心理学を学んだことが、『問題は自分の中にあるのではないか?』と気づくようになりました。そのきっかけとなった言葉が「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる。」(エリック・バーン)という言葉です。

そこで、若菜さんは自分のピリピリ・イライラをなくし、相手の話を聞くようにし、相手の自分に対する『信頼残高』を高めることにしました。この『信頼残高』がなければ、気持良く聞いてもらうことができないのです。重要な顧客と接するのと同じように従業員と接しているかを考えるようにしています。



クリーニング作業をするアイロン台

## 自主性を持つてもらうためには

取材の最後に、若菜さんが考える自立型企業についてお聞きしました。「従業員が穏やかに話し合える会社、対立者ではなく協力者になっている会社ですかね。社長が細部を決めるのではなく、自分たちでルールを決め、ルールを変えていく。そして、社長は従業員の可能性を引き出すための質問をするようにする。私も自分の答えを一応持っているんですが、自分たちで考えて気づいてもらった方が、心から動いてもらえますよね。まずは、私は自分の魅力づくりを常に心がけないといけません。」

取材協力ありがとうございます。

# 2015年度 広報勉強会

## 中小企業ならではの広報のイロハ ～自分たちの活動を自分たちの手で伝えていくために～

中小企業のブランディングに情報の発信力は欠かせないものとなっています。  
ニュースレター、SNS、ブログ、メルマガなど多彩なメディアを駆使し、いかに自社を発信するか？  
今回の広報勉強会では文章づくりの基本を3人の講師より学びます。

**時間** 18:30～20:30

**会場** 福岡同友会会議室 (福岡市博多区吉塚本町9番15号 福岡県中小企業振興センタービル11階)

**参加費** 1,000円 (各回ごとの参加費となっています)

**定員** 40名 (先着順になります) ※また、今回は会員向けの勉強会となります。

**第1回** 2016年 2月 5日 (金)

### 出版社社長が語る「会社経営に役立つ文章講座」

■ 講師 田村 志朗氏 (株)梓書院 代表取締役社長 (福友支部)

経営者にとって文章を書くことは避けては通れない道ですが、「経営者として」文章を書くからには、わかりやすい文章を書くことはもとより、人を引き付け、かつ人をうならせることも求められてしまいます。本講座では、「効果的な文章とは」「5つの基本技術」という項目で講義予定です。表現力は自自力であり、経営力です。表現力アップで経営力を伸ばしてみませんか？

**第2回** 2016年 3月 4日 (金)

### 見出し・キャッチフレーズの作り方

■ 講師 矢野 寛治氏 矢野寛々房 代表者 (会外) (元コピーライターズ・クラブ理事長)

矢野さんは、博報堂九州支社在籍時から「中洲次郎」の名で、西日本新聞や「ぐらんざ」などの地元誌でコラムを執筆してきました。博報堂を退職後、映画評やレトロなどの執筆活動を中心に、企業PR向けのコピー、文案作成なども手掛けています。勉強会では、矢野さんが指定するテーマに沿った見出しやキャッチフレーズを考えるワークを行い、矢野さんの評価から見出しやキャッチフレーズの考え方や作り方を学びます。

**第3回** 2016年 4月 8日 (金)

### 「新規集客とリピート化」を成功させる7つの仕組み構築セミナー

■ 講師 米満 和彦氏 (株)ザッツ 代表取締役 (福友支部)

このセミナーでは「新規客」を集めて、そのお客様を「リピート化」させる手法を学びます。定期的に新しいお客様がやってきてリピート来店(購入)してくれたら絶対に商売繁盛しますよね。とてもシンプルな理論です。

**お問合せ** 一般社団法人 福岡県中小企業家同友会 事務局 (担当: 旭、大庭)  
TEL: 092-686-1234 FAX: 092-686-1230 mail: s\_asahi@fukuoka.doyu.jp

17 水 18:00~20:30 福博支部 2月例会

僕、社長になりました。

- 福岡ビル第1ホール 福岡市中央区天神1-11-17 ☎092-716-8021
- 鈴木 哲也 氏 株式会社ヒアトレーディング 代表取締役社長(福博支部)

17 水 18:30~21:00 西支部 2月例会

人材育成(仮)

- 福岡ビル9F 福岡市中央区天神1-11-17 ☎092-716-8021
- 日高 美治 氏 キューハイテック株式会社 代表取締役(博多支部)

17 水 19:00~21:00 青年支部 2月例会

社員がイキイキ育つ!を実現する人事評価の考え方

- IP CITYホテル 福岡市博多区中洲5-2-18 ☎092-262-2009
- 池尻 昌平 氏 日本人事経営研究室株式会社 取締役

社員がイキイキ育つ理想の組織を実現していくには適性な人事評価を必要とします。その人事評価によって社員一人ひとりが会社の方針、計画を理解し、それぞれの役割を認識し、目標を達成するという会社と社員が連動していく様子を事例を挙げながら説明します。「人事評価」という言葉について、決して評価という言葉だけにとらわれず大きく見て会社作りの一つの手段とみて例会に参加頂きたいです。

17 水 18:30~21:00 ひびき支部 2月例会

『経営の壁』 ~経営資源(人・物・金・情報)のいかし方~

- コムシティ 204会議室 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-641-9360
- 【報告者】
- 御手洗 秀樹 氏 有限会社九州電機精機(製造業・ひびき支部)
- 宮野 教彦 氏 Nori Sougou group(建設業・ひびき支部)
- 毛利 真芳 氏 株式会社スリーアローズ(中古車販売業・ひびき支部)
- 【コーディネーター】
- 清水 勝 氏 有限会社三電(ひびき支部)

今回の例会ではパネラー 3名で自社の経営体験を基に実際に経営課題をどう解決してきたのか、また現在どう克服をしているのかをコーディネーターの質問に回答する形式で報告します。会員の皆様は、自社の現状・立ち位置に置き換え、解決策を見つけていただき、ひとつでも経営のヒントになればと思います。

19 金 18:30~21:00 久留米支部・りょうちく支部 合同2月例会

手強い会社になるために ~どう変わるかを考えた経営~

- 久留米市民サポートセンター 久留米市六ツ門町3-11 くるめりあ六ツ門6階 ☎0942-30-9067
- 緒方 徹 氏 有限会社緒方板金 代表取締役(久留米支部)

手強い会社とはどんな会社なのか、どこを強くしたら良いのか、会社の規模や業種でいろいろとあると思います。しかし、共通するところもあります。お客様との信頼関係や、....

20 日 14:00~17:00 同友すばる委員会 事業承継塾第5講

事業承継時のトラブル

- 電気ビル共創館3F 福岡市中央区渡辺通2-1-82 ☎092-714-5743
- 辻本 聡 氏 エスペランサ税理士法人 代表(福友支部)

経営者にとって「事業承継」をスムーズに行うことは最大の課題であり、責務です。後継者教育?親族・社内承継?株式承継?など、事業承継に関するさまざまな課題を勉強します。

22 日 18:30~21:00 経営労働委員会 労務管理部 人事・労務の基礎知識セミナー

社会保険・労働保険のしくみ

- 天神パークビル 福岡市中央区大名2-8-18 ☎092-720-2122
- 大塚 哲也 氏 大塚社会保険労務士事務所 社会保険労務士(福博支部)

人を生かす経営において、社員が意欲を持って仕事に臨み能力を發揮できる仕組みを作ること、また、労働条件の最低基準を少なくとも守ることは大切です。今年度は就業規則の雛型(こちらで準備します)を利用し、就業規則の作成を皆様と一緒にを行います。また就業規則が古くなっている会社も、新しく変更する条文をお教えいたします。

23 火 18:30~21:00 南支部 2月例会

仲間助けられて今がある。老舗3代目社長の経営体験報告

- 天神ビル 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920
- 後藤 和範 氏 人形のごとう 三代目店主(南支部)

1970年代をピークに縮小を続ける博多人形業界の中で、後藤さんの会社も20年前に破綻寸前の厳しい状況に直面されました。同友会も辞めてしまおうと思った、そんな時に同友会の仲間助けられて危機を乗り越えられ、現在は新商品の開発で海外にも展開しようとしてあります。厳しい時に何をし、どのように乗り越えられたのかをお話いただきます。

23 火 18:30~21:00 企業連携推進委員会 FAST in 九経交流プラザ 第6弾

平成27年度補正、及び平成28年度予算における中小企業施策交流会 ~支援施策の活用は、情報の先取りから~

- 九経交流プラザ 福岡市博多区博多駅東2-11-1 福岡合同庁舎本館1F
- 田中 幸仁 氏 九州経済産業局 産業部 中小企業課 総括係長

2月例会は間もなく発表される小規模中小企業向けの平成27年度補正、及び平成28年度中小企業施策交流会を開催します。毎回、好評を得て、分かりやすい小規模事業者向けの支援内容、例えば、零細中小企業施策のパッケージ支援事業(50万円、2/3)、ものづくり・商業・サービス等の新展開事業支援(1,000万円、2/3)、海外進出事業支援等、身近な支援策ばかりです。

24 水 18:30~21:00 仲間づくり本部・女性部委員会 知る会

同友会を知る会 輝け!女性経営者たち!!

- 中小企業振興センター 202 福岡市博多区吉塚本町9-15
- 福岡は女性社長率全国3位で、全国でも女性経営者が活躍する県です。起業する難しさ乗り越えた後は、経営を安定させる難しさが待っていますが、それは経営者がどれだけ成長するかにかかっています。経営に男性も女性もありません。しかし、女性ならではの悩みや喜びはあり、経営者同士のつながりも必要です。今回、女性経営者を対象にした同友会を知る会を開催します。

24 水 18:30~20:00 地球環境問題委員会 2月勉強会

エコアクション21とは?

- 同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 11F ☎092-686-1234
- 中島 昭一 氏 エコアクション21審査人

エコアクション21とは、環境省が定めた環境経営システムです。中小企業でも取り組みやすい環境経営システムになっていますので、導入されると社員の皆さんの省エネ意識が高くなり経費削減が進んで来ます。また多くの大手企業が環境への取り組みや環境システムの構築を取引条件の一つとしています。ぜひ皆さん、同友会で勉強して認証を受け企業力をUPしましょう!

25 木 18:30~21:00 嘉飯支部 2月例会

職人を極めて見えてきた経営者像 ~オンリーワンでお客様の想いを超えろ!~

- バドドゥ・ル・コトブキ 飯塚市片島1-7-62 ☎0948-22-5138
- 西田 茂 氏 有限会社 西田モーターズ 代表取締役(嘉飯支部)

西田モーターズ最大のウリであるイタリア製の「フレーム修正機」。筑豊では他に所有している工場はありません。西田さんは叔父の工場である西田モーターズに入社し、事業承継を受けました。钣金塗装工場で塗装の職人でもあった西田さんは、職人目線により、お客様をいかに満足させることが大事か気づき、信用金庫の支店長との出会いをきっかけに塗装ブースやフレーム修正機の導入をしました。他社には無い設備から、まねのできない仕事ができるようになったことで、業績も伸び、さらに、4月には新卒社員を雇うほどに成長した会社を経営する西田さんの報告から、顧客の満足度を常に考えた経営理念を実現させるため、経営者としてやるべきことを学びます。

25 木 18:00~21:00 第126回 新会員 フォローアップセミナー

- 同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 11F ☎092-686-1234

26 金 ~ 28 日 経営労働委員会 第14期経営指針作成セミナー

- 虹の松原ホテル 佐賀県唐津市東唐津4丁目 ☎0955-73-9111
- 「あすなる塾」での学びをさらに深め、新たに経営方針・経営計画を加え、2泊3日で経営指針書を作成します。経営指針を成文化することは、漠然としたものを形にし、目に見えるものにする事です。それによって企業経営の枠組みが整理され、筋道がたつこととなります。  
※申し込み締め切り:2月12日(金) お問い合わせは092-686-1234(事務局 森元)まで

# 2月行事案内

お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。

お申し込み、お問い合わせは、e.doyu  
もしくは、同友会事務局までお願いします。

5金 18:30~20:30

広報情報化推進本部  
広報勉強会

## 出版社社長が語る「会社経営に役立つ文章講座」

- 福岡同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15  
福岡県中小企業振興センタービル11階 ☎092-686-1234
- 田村 志朗 氏 株式会社梓書院 代表取締役社長 (福友支部)

経営者にとって文章を書くことは避けては通れない道ですが、「経営者として」文章を書くからには、わかりやすい文章を書くことはもとより、人を引き付け、かつ人をうならせることも求められてしまいます。本講座では、「効果的な文章とは」「5つの基本技術」という項目で講義予定です。表現力は自自力であり、経営力です。表現力アップで経営力を伸ばしてみませんか？

12金 18:00~21:00  
(18:00~19:30知る会 19:30~21:00懇親会)

大牟田支部  
2月例会

## 同友会を知る会 みんなを知り、自分を知り、未来の扉を拓こう！

- 菓舗だいふく 大牟田市有明町2-1-3 ☎0944-53-3333
- 支部会員より3名予定

同友会には、経営者が抱える悩みを解決するための様々な学べるチャンスがあります。それぞれの経営課題を会員同士が互いの経営体験をさらけ出し、共に考え、共に学ぶ事で解決し、未来へ向けて成長発展するために活用できる支部を目指し活動しています。同友会には支部例会を中心に体験・情報等を増やす勉強会が数多くあります。また、悩みを相談できる多くの経営者達がいまいます。今こそ、経営者の仲間と助け合い、学び合いましょ。

15月 18:30~21:00

福友支部  
2月例会

## 働く社員に笑顔と感動を！ ～創業70年、3代目が挑戦するリーダーシップ！～

- TKP博多駅前シティセンター  
福岡市博多区博多駅前3-2-1 日本生命博多駅前ビル8階 ☎092-433-2833
- 井上 透 氏 株式会社大洋サンソ 代表取締役 (福友支部)

今年で70年目を迎える(株)大洋サンソ。昨年3月に3代目経営者に就任。勢力的に活躍される井上氏が入社されたのは9年前。社長就任を決意し、必死に努力しますが、その熱意は当時社員さんに届きにくく、様々な葛藤を経て自ら同友会の門を叩きます。そこで社員さんへの目線、接し方、リーダーとしての在り方を振り返るきっかけになります。

15月 18:30~21:00

筑豊支部  
2月例会

## 経営者のための法律相談所 ～弁護士の上質な活用法～

- 直方中央公民館 直方市津田町7-20 ☎0949-25-2241
- 森 勇馬 氏 直方駅前法律事務所 弁護士 (筑豊支部)

法的トラブルというものは、避けるに越したことがないものです。特に純粋な経営に集中したい経営者にとっては、事前にトラブルの素を知り、対処して、経営環境を整えておくことが肝要です。法律の専門家である弁護士が、主として、経営者にとって特別な存在ともいえる「家族」にまつわる問題に焦点を当て、知っておきたい法律問題と対策を報告します。競争が激化する弁護士業界の事情も踏まえた、上手な弁護士活用法も合わせて報告します。

16火 18:30~21:00

博多支部  
2月例会

## 博多支部、みんなで協力し合って、仕事づくり

- SAKURA SAKURA 福岡市中央区大名1-14-25  
大名ビューティーコンプレックスビル4F ☎092-791-4899

仕事づくりに向けて、新商品・新サービス、自社の課題、自身の悩みなどを語ってもらい、参加者全員でアドバイスをしながら、自社での新商品・新サービス開発に気づきがある例会です。

16火 18:20~20:50

筑紫支部  
2月例会

## 大きな分岐点で無鉄砲な僕が選んだ道(仮)

- 筑紫野生涯学習センター 筑紫野市二日市南1-9-3 ☎092-918-3535
- 平山 芳光 氏 株式会社水城自動車 代表取締役 (筑紫支部)

16火 18:30~21:00

かすや支部  
2月例会

## 人材育成(仮)

- 志免町生涯学習館1号館 糟屋郡志免町志免中央1-3-2 ☎092-935-1003
- 合力 知工 氏 福岡大学 商学部教授

16火 18:30~21:00

玄海支部  
2月例会

## カンボジアに昨年8月オープン予定で工事を始めたレストランが、なぜいまだにオープンできていないのか？

- 天神ビル11号会議室 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920
- 川邊 頼昭 氏 有限会社源流 代表取締役 (玄海支部)

アジア進出の真実。予想外のトラブル続出。現在約2年遅れで4月オープン予定に？  
緊急報告!! 驚きのあんなこと、こんなこと! 今夜は全てお話しします。様々な企業がアジアへ進出している中で、撤退した企業や苦戦している企業が続出。いったい何が起きているのか? 様々な失敗例や、アジア進出のリスクやメリットを、現在、鉄板焼レストランをカンボジアに建設中の川邊氏に実体験を交え報告して頂き、アジア進出の実情を学びます。

16火 18:30~21:00

糸島支部  
2月例会

## ゼロから2万人集客を生み出す方程式とは ～起業から糸島最大集客を誇るサンセットライブまでの苦難と軌跡～

- 糸島商工会館 大会議室 糸島市前原北1-1-1 ☎092-322-3535
- 林 憲治 氏 サンセット・カレント・空 オーナー (SunSet Live 主催)

林氏はカフェ経営という事業の成功ということだけでなく、その先にある目的(理念)達成のためのソーシャルワークとしてサンセットライブを起こします。目の前の事業の成功だけでなく、地域を良くすることを目的に掲げながら人を生かすその経営手法を学び、自社にも落とし込み、行動していくことを目的とします。

16火 18:30~

北九州支部  
2月例会

## 大牟田の街は僕が守る ～同友会での学びで新しい事業を創造し地域を変える～

- コムシティ 大会議室 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-641-9360
- 富山 博史 氏 株式会社カンカングループ 代表取締役副社長 (大牟田支部)

「大牟田のまちが消滅する。」そんな話を聞いて、居ても立ってもいられなくなりました。大牟田で生まれ、大牟田で育ち、当然のように大牟田で生きていくと信じていた彼が「消滅しかかっている大牟田」を甦らせるために何をすべきか考えた。同友会での学びを活かし大牟田のまちを甦らせるため、富山さんがたどりついた答えは自社のビジネスと新しいビジネスを融合させる新しい取組みでどのように地域を活性化するか。

17水 18:00~21:00

東支部  
2月例会

## 経営者としての私の生きざま!! 逆境から夢へとみなぎる力

- ウィズ・ザ・スタイル 福岡市博多区博多駅前1-9-18 ☎092-433-3900
- 中原 均 氏 有限会社フィンテック 代表取締役 (東支部)

元々は、現在とは違う道で頑張っていた経営者が、周りの事情で夢を諦めて逆境に立ち向かっていかなければならなくなった。それら乗り越えて、新たな夢をもてるのか!? 新たな道で夢を実現するために同友会へ入会し、学び、気付き、会社を成長させてきたひとりの経営者の生きざま! そんなどろどろ体験を赤裸々に報告して頂きます。

17水 18:30~21:00

中央支部  
2月例会

## 「不安を打ち消す経営指針書」～私を応援してくれる同友会～

- 天神ビル11F 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920
- 木下 師博 氏 アーテック株式会社 代表取締役 (中央支部)

同友会の仲間との出会い、経営指針書の作成とその実践により不安な時期を乗り越えてきたという木下氏に報告していただきます。

## 自社商品・サービス紹介 株式会社メディカルフーズみのりや

### 健康な生活を支える健康食・治療食の宅配



代表取締役  
たなか としや  
田中 稔也 氏 (大牟田支部)

私は当初、料理人を志して地元大牟田市の和食店にて修行してまいりました。料理を覚えていく中で、栄養学に興味を持ち始め、調理師免許だけでなく、ホームヘルパー2級や栄養士免許を取得し、その後、特別養護老人ホームに勤務しました。

管理栄養士免許取得後、内科専門病院にて勤務し、主に糖尿病の患者さまへの栄養指導業務を中心に行なっております。管理栄養士として、内科専門病院で多くの患者様の栄養指導を行う中、「糖尿病で苦しむ方の力になりたい」と考え、平成22年に「筑後・佐賀糖尿病療養指導士」を取得しました。

糖尿病は食事療法と運動療法が治療の基本と言われています。しかし、残念なことに、昔ながらの日本食は少なくなってきました。全てが便利になった時代の流れの

中で、栄養バランスは崩れ、高カロリーの食事へと変化しています。食べ物が溢れる現代社会で食に関わる仕事に携わってきた私自身が一番不安を感じていたのかもしれない。

そこで、「本当に安心・安全な食事を提供したい、健康で幸せな生活を生み出すための種になりたい」との想いで、平成22年12月、柳川市で健康食・治療食「みのりや」を開業させていただきました。

食材は地産地消にこだわり、栄養面でもビタミン類や微量元素を閉じ込めるクックチルシステムを導入し、PFCバランスも限りなく理



みのりや御膳

想に近づけた日替わりメニューを考え、食べて頂く方の心と身体を笑顔を思い浮かべながら、毎日、調理及び個別の栄養カウンセリングを行なっています。

開業から今日まで、健康食・治療食の宅配を通し、病院では見えない患者さんの身近な生活を目の当たりにすることで、改めて地域に密着した糖尿病や生活習慣病治療に対する情報発信の重要性を感じています。みのりやは、5年後、10年後、皆様と皆様の本当に大切な人が健康で幸せな時間を共に歩んでいただけますようにと願いを込めてお食事をお届けしています。



美彩御膳

# みのりや



柳川本店

〒832-0827 福岡県柳川市三橋町蒲船津362-1  
TEL 0944-32-8866 FAX 0944-32-8866

<http://minori-ya.net>



# WELCOME Fresh our partners

## 新入会員ご紹介

ドヨウ  
同友会へ



### ギャブリッジパートナーズ 株式会社

企業の明確なビジョンを作り、  
そのビジョンを実現するための組織、  
人作りを応援します！

福岡市博多区古門戸町7-19  
MSFビル5F  
TEL 092-409-7500

代表取締役 まつ お 松尾 ちかし 誓志 (中央支部)

初めまして。ギャブリッジパートナーズの松尾と申します。博多区でコーチングを用いた組織作りをしております。

同友会には、勉強熱心な経営者が多いと伺っております。その熱を受けながら、私自身も成長していきたいと存じます。一方で、長い間かけて学んだ心理学や組織作りのノウハウや経験で、皆様のお役に立てれば・・・とも思っております。よろしくお願いいたします！

## 2015年度 第8回理事会報告

■ 日時：2015年12月24日(木) 14:30～17:30  
■ 出席：46名 (出席率79.3%)

■ 場所：福岡県中小企業振興センター 202会議室  
■ 議長：貞池 龍彦 (副代表理事)

### 協議事項

- 1 第25回経営者フォーラムのまとめと今後の課題  
第25回経営者フォーラムについて総括した後、本理事会での協議及び審議事項として下記の3つの課題が提起され、承認された。
  - ・開催時期について、再来年3月に開催
  - ・開催地について、博多駅周辺で開催
  - ・委員会常設化について、常設化とする
- 2 2016年度総会(2016年5月)のスケジュール  
5月12日(木)に中小企業振興センター大ホールにて開催することが提案され、承認された。また、記念講演会を予定しているが、正副代表理事会で検討中であり、1月理事会にて提案する予定である旨報告があった。

### 審議事項

- 1 入会資格審議  
特定非営利法人の入会希望について、資格審査を行った。審議の結果、承認された。

### 報告・要請・案内事項

- 女性部委員会  
女性経営者限定の「同友会を知る会」を開催する企画

が進められていることについて報告及び案内があった。会員75名・ゲスト25名の100名で開催する予定であることが説明された。

- 北九州地区会  
福岡ひびき信用金庫との懇談会の報告が行われた。信用金庫と同友会の理念が近いことをお互いに認識し、今後も関係づくりを継続していきたい旨報告された。

### 会員企業のうごき

- 経営革新計画承認企業  
2015年11月(県22社/うち同友会会員企業1社)  
シーエススチール(株)  
松原 照明 氏 (かすや支部所属)
- 表彰
  - ・ 第9回北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰  
企業団体部門 市長賞  
(株)ウキシロケアセンター  
浮城 守 氏 (北九州支部所属)
  - ・ 第14回福岡県男女共同参画表彰  
女性の先駆的活躍部門  
(有)畠中育雛場  
畠中 五恵子 氏 (嘉飯支部所属)

※ 理事会報告全文は、e.doyuの文書管理  
(理事会報告-2015年度)にアップしています。  
会員の方は全て閲覧できます。



会員からの

# 自由投稿!

このコーナーでは、会員のみさんから寄せられた記事をご紹介します。

## 宮崎宮 玉取祭/玉せせり

玉取祭は別名「玉せせり」と言われ、全国に知られる祭りです。毎年1月3日に行われ、今から500年前の室町時代に始まったとされている宮崎宮の神事です。

午後1時の玉洗い式にて祓い清められた陰陽の2つの木玉は、東側に約250メートル離れた場所にある末社玉取恵比須神社に運ばれます。陽の玉は300人の競り子によって争奪戦をくり広げながら本宮に運ばれます。陸側と浜側に別れた玉の争奪戦は、陸側から玉をあげれば豊作、浜側からあげれば豊漁と云われています。競り子は玉の争奪戦をくり広げながら楼門に待つ神職の手に渡され、陰陽の玉が揃って神前に納まり神事は終了です。 撮影・文 (株)ココスイメージ 富谷 正弘 (玄海支部)



玉せせりの様子



玉洗い式の様子



陽の玉と陰の玉  
(陽玉直径28cm 重さ8kg)



多くの参拝客で賑わう宮崎宮

## 十日恵比須神社正月大祭 十日恵比須詣り

福博最初の祭、十日恵比須神社正月大祭が1月8日から11日まで4日間行われました。福の神のえびす様・だいこく様をご祭神とする神社には、商売繁盛、家内安全、開運招福を求めて多くの人々が参拝します。

「大当た〜!」と威勢のいい声が境内に響く名物の「福引き」、新春の縁起を祝う「開運御座」、博多芸妓の「かち詣り」等、昼夜を問わず賑わっており、神社周辺には300店の露店が軒を連ね、多くの参拝者が訪れています。



十日恵比須の様子



十日恵比須での福引の様子



総代を務める江副氏

総代江副さん、世話人石松さん、北島さん、春日さん、竹内さん、黒木さん、吉積さん、上田さん、毛利さん、日高さん、平田さん、武富さん、家迫さんと13名の同友会会員が正月大祭を支えています。地域を支える同友会らしさのなかなと感じました。皆様お疲れ様でした。

撮影・文 (株)ココスイメージ 富谷 正弘 (玄海支部)

**あなたの記事でこのコーナーを飾りませんか!**

このコーナーの記事を公募いたします。テーマは自由です。川柳、写真、地域の紹介、雑学...等々。みなさんの投稿をお待ちしております。

投稿方法...電子メール、郵送いずれも可。表題に「月刊同友 自由投稿コーナー」とご記載ください。

送付先...一般社団法人福岡県中小企業家同友会 広報情報推進本部広報部 〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号

もしくは、福岡同友会事務局 旭 (s\_asahi@fukuoka.doyu.jp) まで

※応募が多数の場合は編集委員会で選考いたします。